ガンダムアーカイヴス

ジオンの名機

Model Graphix

モデルグラフィックス編

大日本絵画

Model Graphix ガンダム アーカイヴス

ジオンの名機

月刊モデルグラフィックス編

大日本絵画

302
ZEON

Model Graphix

ガンダムアーカイヴス ジオンの名機

月刊モデルグラフィックス編

‘85年に創刊した模型専門雑誌『月刊モデルグラフィックス』には創刊当初より数々のガンプラ作例やスクラッチビルド作例が掲載され続けてきていますが、本書はその膨大な作例群のなかからジオン系機体を題材とする作例をピックアップしまとめたものです。なお、本書内でのガンダム世界考証は模型を楽しむための独自のもので、公式設定を下敷きにしていますが、サンライズ公式設定ではないことをお断りいたします。

＊本書では基本的に雑誌掲載当時の記事表記に準じるようにしています。そのため､「本誌」＝『月刊モデルグラフィックス』､「MG」＝マスターグレード、「PG」＝パーフェクトグレード、「RG」＝リアルグレードの略となっています。また、記事中にあるマテリアルやキットに関する表記は掲載当時のものになっているため、現在は販売が停止されていたり名称が変更になっていたり価格が改訂されていたりする場合がありますのでご了承ください

©創通・サンライズ

Contents;

ジオンの名機 ないならば 作ってしまえガランシェール隊

ガランシェール
(フルスクラッチビルド 1/144)
製作／みずき匠 …… 6

1/144 ガランシェール製作7年記 …… 26

みずき匠こだわりの“コクピット”紹介!!
／1/144 ガランシェール撮影記 …… 38

NZ-666 クシャトリヤ
(BANDAI SPIRITS 1/144 HGUC)
製作／かにみつ …… 40

AMS-129 ギラ・ズール
(BANDAI SPIRITS 1/144 HGUC)
製作／ゲンター …… 46

ベースジャバー (ユニコーンVer.)
(BANDAI SPIRITS 1/144 HGUC)
製作／POOH熊谷 …… 50

スキウレ
(フルスクラッチビルド 1/144)
製作／みずき匠 …… 52

YAMS-130 クラーケ・ズール
(セミスクラッチビルド 1/144)
製作／直井浩司 …… 56

ジオンの名機 ザクとは違うのだよ、ザクとは!

ガンプラペディア MS-07Bグフ …… 62

MG MS-07B グフ Ver.2.0
(BANDAI SPIRITS 1/100 MG)
製作／NAOKI …… 64

MG MS-07B グフ Ver.2.0
(BANDAI SPIRITS 1/100 MG)
製作／横縞みゆき …… 70

HGUC MS-07B グフ №009
(BANDAI SPIRITS 1/144 HGUC)
製作／ぬっきー …… 80

HGUC MS-07B グフ №196
(BANDAI SPIRITS 1/144 HGUC)
製作／学屋 …… 84

スペースノイドのジオン軍が未知の戦場を制すべく開発した
地上用MSグフを兵器として考える …… 92

MS-07B-3 グフ・カスタム
(BANDAI SPIRITS 1/100 MG改造)
製作／直井浩司 …… 94

MS-06F-2 ザクII F2型
(BANDAI SPIRITS 1/100 MG改造)
製作／直井浩司 …… 101

GUNDAM UC

ガランシェール、クシャトリヤ、ギラ・ズール、スキウレ＆ベース・ジャバー…

『機動戦士ガンダムUC』の名脇役
格納庫再現、電飾、電動ギミック……
宇宙世紀の名艦を約1.5mの大きさで徹底再現!!

SNSやインターネットのニュースで途中経過をご覧になってその迫力に驚いた方も多いかと思いますが、凄腕モデラーとして知られるみずき匠さんが1/144 全長約1.5mの超巨大なガランシェールをスクラッチビルドし、それがついに完成に至りました!!

外観の精密な作り込みはもちろんのこと、ブリッジや格納庫内の再現、電飾、さらにはグラップル・ブームや格納庫ハッチの電動ギミックまでをも備えた、驚きの超巨大精密艦船模型として完成を果たした1/144 ガランシェールですが、みずきさんが製作にかけた年月はなんと7年。きっかけはいかにもみずきさんらしい、わりとしょーもない衝動的な思いつき（失礼／笑　詳しくは後述）からスタートしたのですが、その後の製作過程も、いかにもみずきさんらしい趣味のレベルを完全に凌駕したガチっぷりのオンパレード。旋盤を使った挽き物工作やデジタルモデリングなどはまだかわいいほうで、自作で型取りしてFRP製外装パーツを作ってしまったり、果てには輸送専用に愛車をカスタムしてしまうなど、「自分の培ってきたテクをすべて使い切った」と言い切るのは伊達じゃない！　そんな驚きの1/144 ガランシェールを、巻頭特集でできるかぎり紹介していきますよ！

Model Graphix
2024年4月号
掲載

ジオンの名機 Part.1

ネオ・ジオンもね!

ないならば 作ってしまえ
ガランシェール隊（字余り）

1/144

みずき匠、7年を費やしガランシェールと添い寝する。

全長約1.5m!

みずき匠

みずきたくみ／1966年生。ガンダムはもちろん、バイクモデルからランドシップまで、キットがなければなんでも自分で作ってしまう造形の達人。乗り物大好きで、ちなみに2021年茂木で開催された耐久レースでファステストラップを叩き出した“模型界最速ライダー”でもある（なんと元世界GPチャンピオン原田哲也選手が同バイクで出したタイムと同タイム！）。ライダーとしては、漫画家ばかりの「Racing teamしめきり」でも活動中

あまりに“武者クシャ”したので、つい作り始めちゃいました！（えっ!?／笑）

40代も後半になるといろいろあるもんです。ある日あまりにもムシャクシャしたので「プラモデルを買うぞ！」と思って武者頑駄無とクシャトリヤを買いました。武者クシャ……（駄洒落か！／笑）。で、仮組みをしたクシャトリヤを見ていて「ガランシェールくらいならこの部屋でも作れるんじゃないかな？」と思って、背面の図面をイラストレーターで作成してクシャトリヤに合わせてみたのが50才の誕生日。このときは、７年間ガランシェールと添い寝することになるとは思ってもいませんでした。

ガランシェールは曲面で構成されたデザインなので、外装はＦＲＰ、骨格は木材で作ることにしました。プラ板で作れるのは後部ハッチぐらい。それまでに培ったプラモデルの技術だけではどうにもならず、とてもチャレンジングな作品になりました。使った材料はざっと、４㎜シナ板２畳、スタイロフォーム２畳、ポリウレタン８ℓ、ガラスクロス３畳、石膏20㎏、ワーカブルレジン４㎏、プラ板50枚、角材10ｍ、アクチュエーター２本、電飾多数、そして、総スジ彫り全長15ｍ、デカール１０００枚以上、塗料約１００本。総重量は28㎏となり、１／１４４の模型を作ってますって感じではなかったですが、同スケールのＭＳと並べて違和感のない仕上がりを目指しました。劇中が再現できるように、全ハッチとアームは可動とし、ブリッジ内のドラマも再現。スピーカーでＢＧＭも流せて、ガランシェールの形をしたオーディオになってます。贅沢でしょう。邪魔ですけどね（笑）。

製作過程をＸ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）で呟いてきましたが、いろいろな人に助けてもらいました。車のフェンダーを作る本職の方や電飾のＤＯＲＯ☆ＯＦＦの皆さんがアドバイスをくれ、なによりたくさんの人達の応援のおかげで完成させることができました。本当にありがとうございます。今回の記事が皆様の造形の糧になれば幸いです。

（文／みずき匠）

GARENCIERES

NEO ZEON's warship disguised as a cargo

ジオンの名機 Part.1

ないならば 作ってしまえ
ガランシェール隊

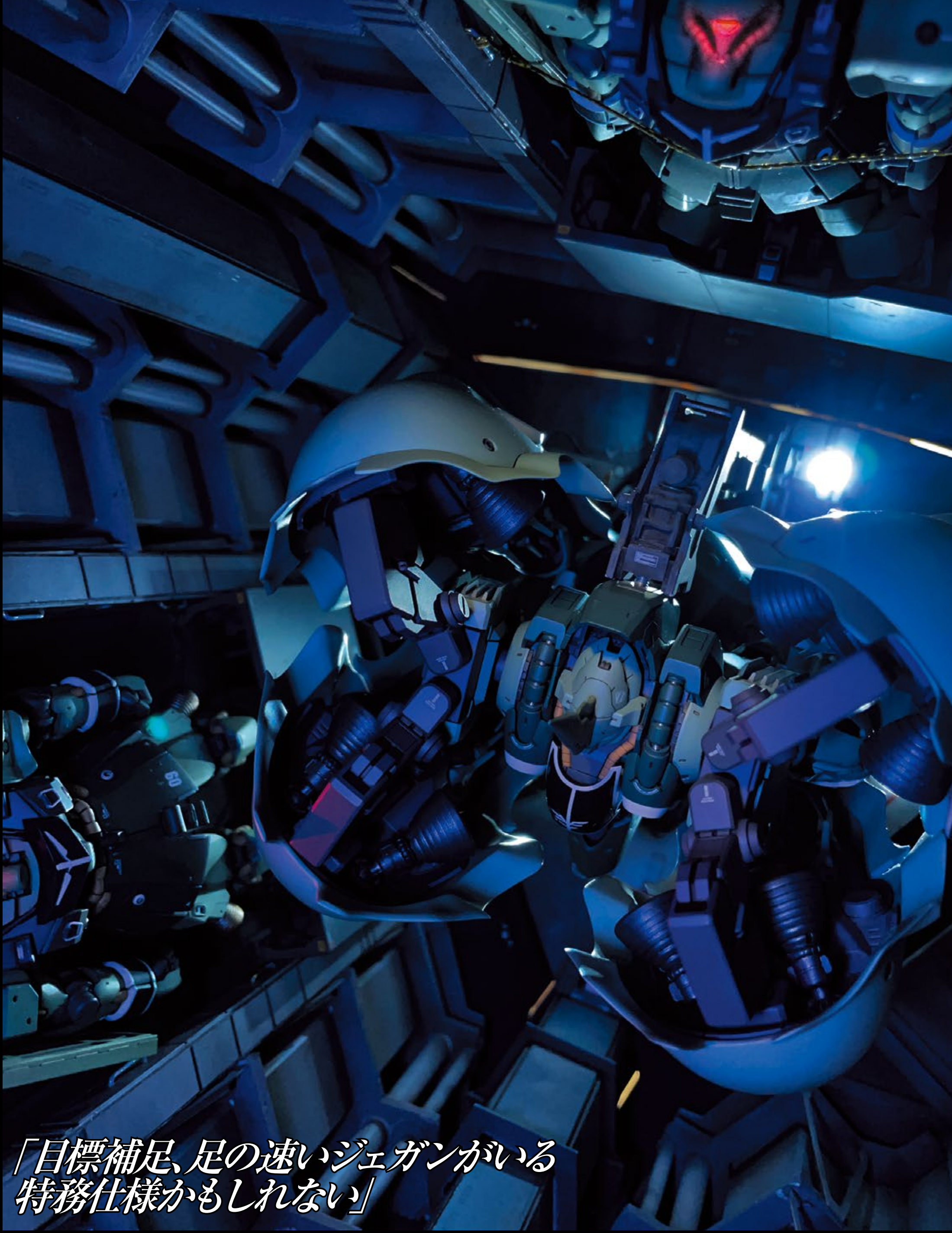
ガランシェール
1/144　フルスクラッチビルド
出典／『機動戦士ガンダムUC』
製作・文／**みずき匠**

模型で再現する、ガランシェール隊の名シーン

「クシャトリヤが入るように作ろう」というところからスタートした1／144 ガランシェール。それだけでもすごいのですが、そこで終わらないのがみずき匠。「いっそガランシェールの名シーンをできるかぎり再現してしまおう！」――そしてできあがったのがこれ。模型を使った特撮で記憶に残る名シーンの数々をお楽しみください。

NEO ZEON's warship disguised as a cargo

GARENCIERES

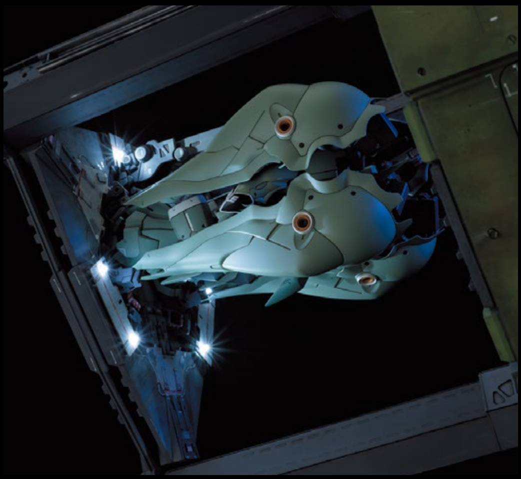


▲格納庫内にはHGUCのクシャトリヤとギラ・ズール2機を搭載。クシャトリヤはハッチのMSクリップに固定された状態になっています。格納庫内とMSのモノアイは電飾されていて、覗き込むとめちゃくちゃカッコいい!! カメラは入らないのでスマホで撮影してます

Part.1 ジオンの名機

ないならば 作ってしまえ ガランシェール隊

▲アニメをじっくりと見た方ならすぐおわかりかと思いますが、ミネバが艦を抜け出すシーンもちゃんと再現できます！　このためにハッチを開閉するように作ってあってミネバもスクラッチビルド



「マリーダ・クルス クシャトリヤ、出る」

▲赤外線リモコンをぽちっとすると、内部にしこまれたギミックにより艦尾MSハッチが電動で開閉。劇中冒頭の発艦シーンを体感できるようになっています。ハッチが開いたところで奥に覗く格納庫内もカッコいいですね

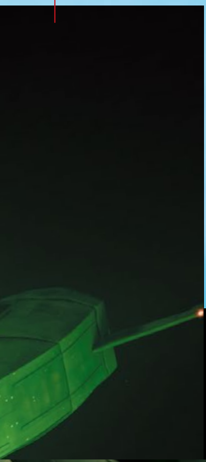
「船は追わせない……ファンネル！」

「例のガランシェールです！ ガルダの防衛隊が応戦中！」

「本当にやるんですか!?」
「中に入っちまえばこっちのもんだ」

●ミネバ奪還のためのガルダ追撃戦のシーンは『機動戦士ガンダムUC』屈指の名シーンです。ガルダは、食玩『2分で作る ガンダム名鑑ガム2』を製作したもの。ジンネマンが乗るベースジャバーはHGUCで、マグネットでガランシェールにくっつくようになっています

幾 Part.1
ール隊



「なんにも知らない小僧が！」

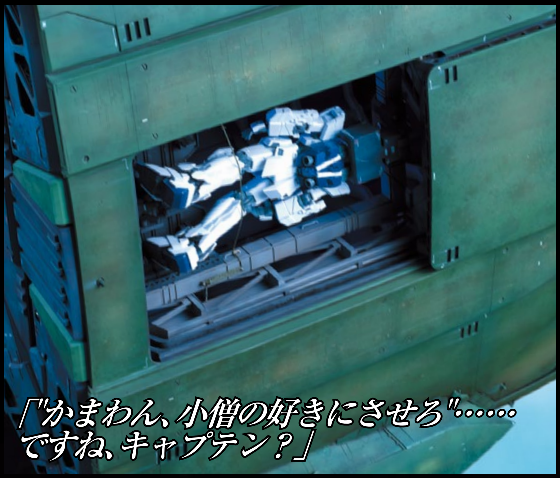
◀ブリッジも作り込まれていて、バナージとジンネマンのシーンまでフィギュアで再現。「いま手が離せないんで」というポーズのフラストも作り込まれているのがニクイ！

模型で再現する、ガランシェール隊の名シーン

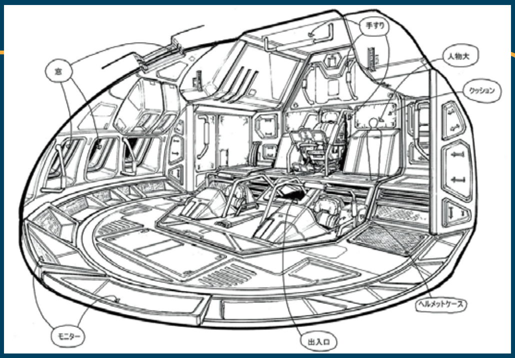
「エンジンにトラブル発生
出力上がりません！」

▲スラスターには電飾が仕込まれていますが、リモコンで切り替えてエンジントラブル時も再現。写真ではわからないですが、ちゃんと弱々しく点滅するのが芸コマ！
▶ガルダ追撃戦で印象的だったのが、側面から展開される武器マシマシのギラ・ズール。そこで、アニメから武器を解析してガンプラのパーツを集め、武器ラックはデジタルモデリングでスクラッチビルド！

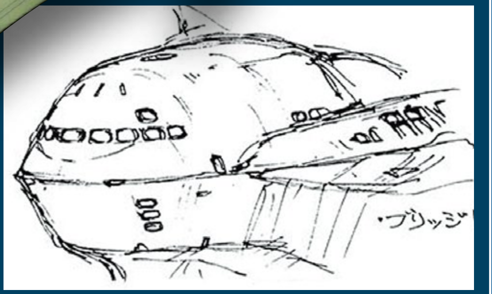
▲ガランシェールの砲台として使われたスキウレはスクラッチビルドし、開閉する上部ハッチのところにはめ込めるようになってます。ギラ・ズールはHGUCを作り込んだもので、蛍光塗料を使ったウェザリングで、ビーム粒子が降り注いで装甲が焼けるシーンも再現できるようになっています
▶MSケージはMSを着脱できるようになっているので、機体を入れ替えればユニコーンガンダムの発艦シーンも再現できちゃいます



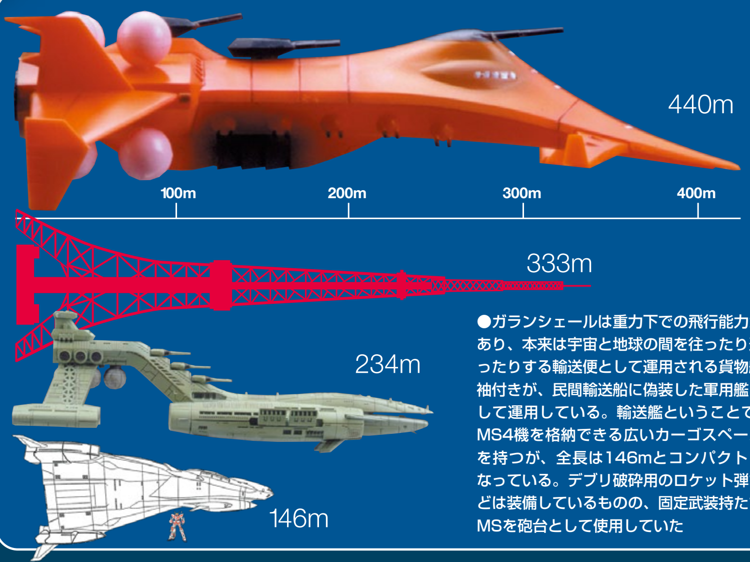
●ガランシェールを宇宙に帰すためにテザーをつなぎ止めようとするユニコーンガンダムのサイコフレームが発動するシーンは『機動戦士ガンダムUC』のハイライトのひとつ。みずきさんは、テザーアームの電動ギミックを2年以上かけて考案し、ついにリモコンで展開するようにできあがって撮れたのがこのカット。感無量です



▲ブリッジは可動式となっており、垂直離着陸時には内部の向きが90度回転。戦闘時には全天周囲モニターとなる。ブリッジには船長、操縦士、航法士の3名が搭乗できるようになっている



▲艦橋部外観。元々が貨物船ということでジオン軍系軍艦のようないかつさはないが、現実世界のジェット旅客機のような、いかにも「業務用」といった趣のそっけない形状がむしろカッコいい

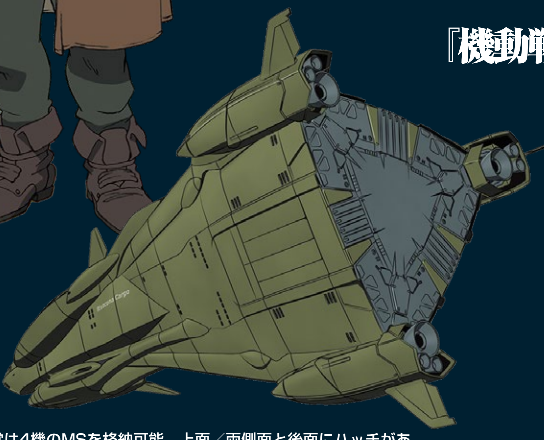


●ガランシェールは重力下での飛行能力があり、本来は宇宙と地球の間を往ったり還ったりする輸送便として運用される貨物艦。袖付きが、民間輸送船に偽装した軍用艦として運用している。輸送艦ということで、MS4機を格納できる広いカーゴスペースを持つが、全長は146mとコンパクトになっている。デブリ破砕用のロケット弾などは装備しているものの、固定武装持たず、MSを砲台として使用していた

『機動戦士ガンダムUC』といえば、モデラー的には次から次へとめまぐるしく登場するメカが大きな魅力でしたが、ガンダムのアニメ作品として見ると、宇宙世紀世界に通じるテーマ「ニュータイプの覚醒」とそれを巡る複雑な勢力設定を見事に描ききったところがすばらしい作品です。地球連邦軍、ネオ・ジオン軍、袖付き、ジオン残党軍、エコーズ、カラバ、ロンド・ベル隊、アナハイム・エレクトロニクス社といった勢力がおのおのの思惑で動いていく群像劇、それを見事に描いた『機動戦士ガンダムUC』は、単純な勧善懲悪ではない人間の業と可能性を描く物語。これぞ「宇宙世紀のガンダム世界」の面目躍如で、そんな物語に欠くべからざる狂言回しとして活躍したのがガランシェール隊でした。

ガランシェールは、ネオ・ジオン軍残党、通称「袖付き」の実力派行動部隊が使用する偽装貨物船で、隊を率いるはスベロア・ジンネマン。複雑怪奇な勢力関係のなかで、ときに体を張り、あるいは横紙破りをしながら己の信じる道を突き進み、バナージと丁々発止のやりとりを繰り広げつつも、自らの進む道に苦悩するジンネマン艦長。その姿に、「これぞ宇宙世紀のガンダムの真骨頂！」と、ぐっときたファンは多かったことでしょう。ジンネマンのシーンは名言尽くし、詳しく語りたいところなのですが……未見の方もいらっしゃるでしょうから、皆さまぜひアニメ本編で！

もはやこっちが主役と言っても過言ではない!?
『機動戦士ガンダムUC』の狂言回し、ガランシェール隊

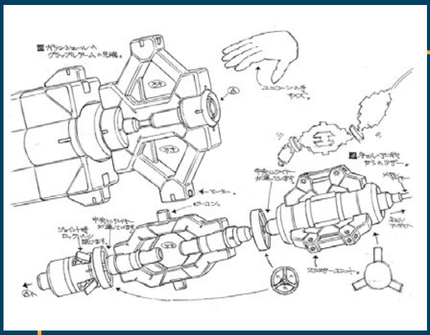


▼通常は4機のMSを格納可能。上面／両側面と後面にハッチがあり、大型のクシャトリヤは後部ハッチから出し入れするようになっている。一時はユニコーンガンダムも搭載された

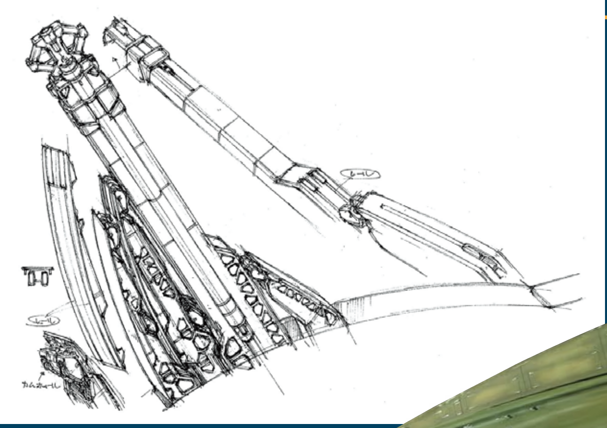
▼ザンジバルを彷彿とさせる色やフォルムだが、輸送艦ということで比べるとかなり小型。運送会社「リバコーナ貨物」(Rivacona Cargo)のロゴが偽装としてマーキングされている。外伝作品に二番艦のブランダムールが、『機動戦士ガンダムNT』には同型艦のガランシェールJr.が登場した

ジオンの名機

ないならば　作ってしまえ　ガランシェール隊

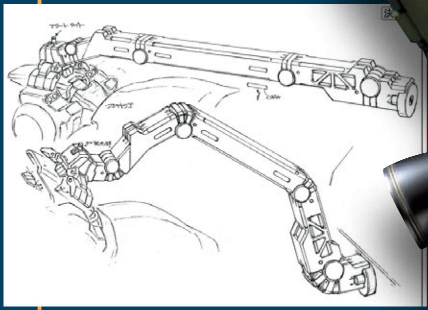


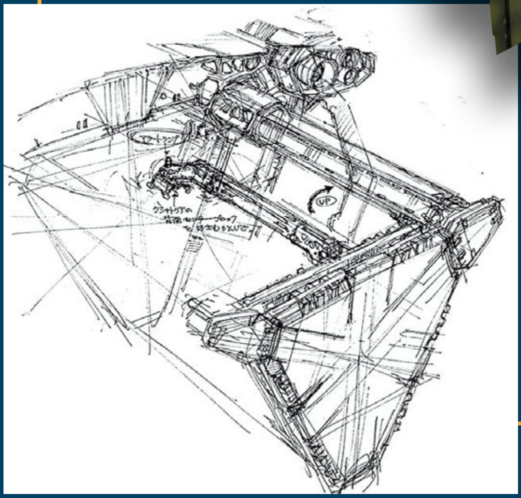
●ガランシェールの特徴的な装備であるグラップル・ブーム。普段は収納されていてテザー・ケーブルをつなぐときに展開するようになっており、テザー推進時に姿勢が安定するよう、艦の重心位置から延びるようになっている。ガランシェールが本来自力で大気圏離脱できるかは劇中で触れられていないが、艦の大きさに対するスラスターのバランスと民間往還船としての経済性を考えると、宇宙に戻る際はテザー推進を使うことが想定されていると考えるのが合理的だろう

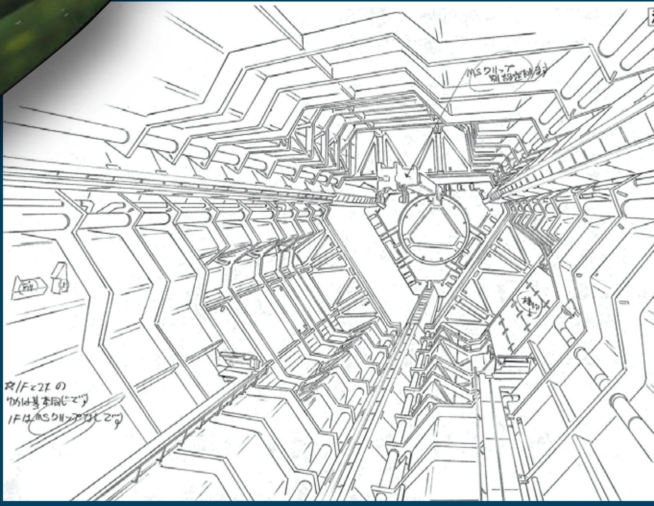


▲みずきさんの作った1/144ガランシェール、じつは設定全長のままだとHGUC クシャトリヤがうまく収まらなかったので少し大きめに製作。模型原寸約1.5mなので、144倍すると216m相当になっていたりします

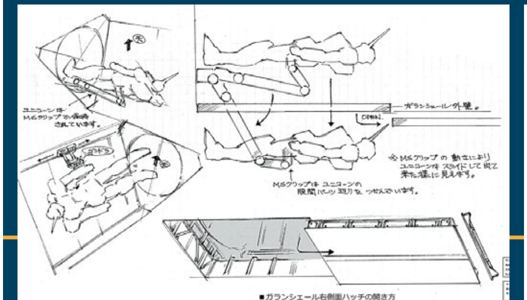
▼MSクリップはクシャトリヤの背中外装をつかむようにして保持

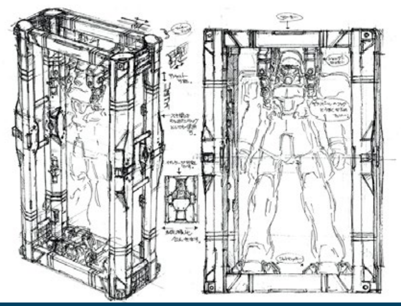






●格納庫にはMSケージが収められていて、MSクリップとゴンドラで内部を移動させて発艦するような仕組みが想定されている。MSは上面／側面のハッチから発艦させることもでき、上面ハッチは内側に、側面ハッチは外側に開くようになっている
●後部ハッチは３本のアームがスライドしてせり出してくる構造になっている


■ガランシェール右側面ハッチの開き方



9784499234184
1920076043000
ISBN978-4-499-23418-4 C0076 ¥4300E
定価（本体4,300円＋税）

Model Graphix GUNDAM ARCHIVES
"Masterpieces of the ZEON"

© 創通・サンライズ